

## 小児科で入院中のみなさまへ 臨床研究実施のご案内

当院小児科では、2019年12月1日より、入院中に点滴または採血を行うお子さまに対して、処置中のストレス、疼痛緩和を目的とした介入(ディストラクション)に関する臨床試験を実施します。対象のお子さまと保護者の方にはお声掛けさせていただき、ご協力をお願いすることがあります。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

### 臨床試験名：

小児に対する医療処置時のディストラクションツールとしてのプロジェクションの実施可能性と有用性の探索的な評価  
痛みの心理評価検討のための産学間連携共同研究

### 研究代表者：

国立国際医療研究センター小児科医師 田中瑞恵

### <対象>

3歳～11歳の、入院中に処置室にて点滴または採血を必要とするお子さま

### <研究の意義>

プロジェクションを用いたディストラクションの汎用性を探索することによって医療処置を行う際に伴う痛みと恐怖の緩和を図ります。

### <試験で用いるディストラクション>

小児医療に携わる多職種および女子美術大学と連携し、対象年齢や処置中の投影としてふさわしい映像を創作しました。セイコーエプソン株式会社より提供されるプロジェクターを用いて処置室内にて投影します。

処置前日には当日の流れや処置内容についてお子さまの発達年齢に合わせた説明(プレパレーション)を行います。

\*この研究は、研究責任者の属する施設の倫理審査を受けています。

国立国際医療研究センター病院  
担当：小児科医師 古東麻悠・安心院千裕  
東京都新宿区戸山 1-21-1  
03-3202-7181(代表)